日本行動計量学会

第50回大会 プログラム冊子

Program of the 50th Annual Meeting of the Behaviormetric Society

2022年8月28日（日）～8月31日（水）

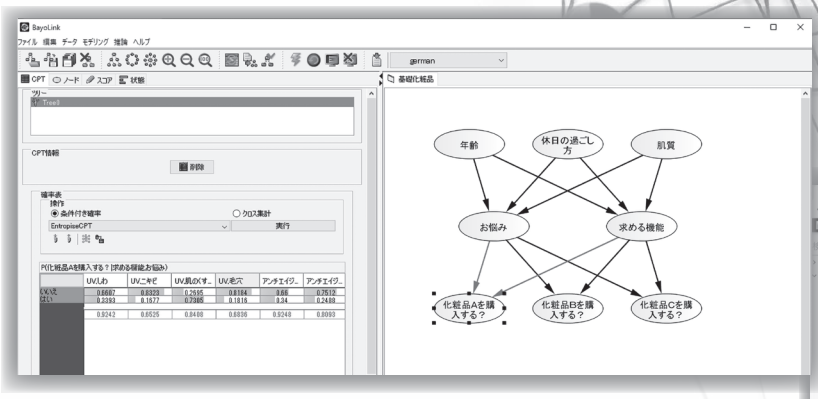
文教大学

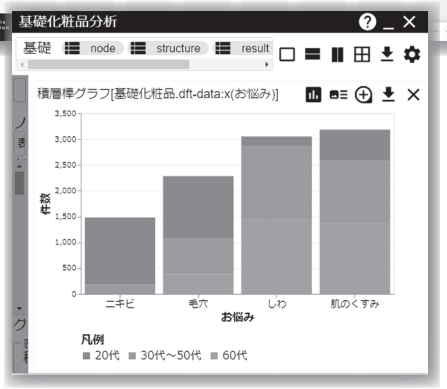
ベイジアンネットワーク構築支援システム

BayoLinkS®

ベイジアンネットワークは変数間の因果関係をグラフ構造で可視化するモデリング手法です

BayoLinkSを使うことで大量のデータから依存関係を抽出し、ベイジアンネットワークを構築できます。
構築したベイジアンネットワークは、確率推論により、予測や診断に利用することができます。





主な特徴

- 直観的なインターフェースで対話的にモデルを構築
- ネットワークグラフにより、モデル構造を視覚的に理解
- NTTデータ数理システムのデータ分析共通基盤MSIP上でモデリング
- 感度分析により、事象に与える各要因の影響度を分析
- LoopyBP法、サンプリング法による確率推論実行
- マルチスレッド対応で構造学習を視覚的に理解

MSIP 対応

データの前処理、集計、グラフ化には、NTTデータ数理システムのデータ分析基盤MSIPを利用可能です(MSIPはBayoLinkSライセンスに含まれます）。
MSIPは柔軟なデータ処理や現状把握のための可視化をノーコードで行う、Webアプリケーションです。
MSIP上でデータ分析ツールAlkanoと連係し、各種機械学習機能の利用も可能です（Alkanoのご利用には別途ライセンスが必要です)。

BayoLinkS 無料セミナー 毎月実施中

毎月セミナー（Webinar）開催中！ https://www.msi.co.jp/event/

無料トライアルあり
30日間ご利用可能なライセンスを発行します。
機能に制限はございません。
詳しくはお問い合わせください。

NTT DATA 株式会社 NTTデータ 数理システム 営業部 お問い合わせ:平日10:00-16:00（E-mail、FAXは随時受付）
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館1階
E-mail: bayoLink-info@ml.msi.co.jp 03-3358-6681 FAX: 03-3358-1727

日本行動計量学会
第 50 回大会プログラム

このたび 2022 年 8 月 28 日から 8 月 31 日までの 4 日間、日本行動計量学会第 50 回大会を沖縄県市町村自治会館で開催させていただくことになりました。

本年は学会にとっても 50 回という節目であり、かつ沖縄返還 50 周年に当たり開催地である沖縄県にとっては記念の年になります。また開催校である文教大学にとっても前身の立正裁縫女学校から数えて 95 年目と意義深い年になります。このような様々な面から見て節目の年に、第 50 回大会を担当させて頂くことを大変嬉しく思っております。

会場となる沖縄県市町村自治会館は那覇空港からモノレールで約 10 分、駅から徒歩約 5 分の交通至便なところにあります。本年の大会は、昨今の新型コロナウィルスの感染状況を考慮し、現地だけではなくオンラインも併せたハイブリッド形式での開催を予定しています。会員の皆様方には、50 回の記念大会に様々な形でご参加いただき、今後の行動計量学の発展のために議論をしていただけるよう願っております。

なお、今後の感染状況、政府の方針ならびに沖縄県のガイドライン変更によっては、ハイブリッド形式ではなく全面オンライン形式での開催に変更となる可能性もございます。皆様方におかれましては、事情をご賢察の上、積極的に大会にご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

第 50 回大会実行委員長　森　一将
（文教大学経営学部）

大会の概要

1. 基本情報

(1) 期　間：2022 年 8 月 28 日（日）～8 月 31 日（水）
28 日は、チュートリアルセミナー

(2) 場　所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市旭町 116-37）

(3) 大会ウェブページ URL：https://conference.wdc-jp.com/bms/2022/

(4) 問い合わせ先：
大会ヘルプデスク（bsj-desk＠conf.bunken.co.jp）
大会実行委員会（bms2022taikai@gmail.com）

(5) 大会の構成：

8 月 28 日（日）	13:40～19:00（受付開始 13:20）	チュートリアルセミナー
8 月 29 日（月）	10:00～18:00（受付開始 9:30）	特別セッション、一般セッション
8 月 30 日（火）	9:30～11:30（受付開始 9:10）	特別セッション、一般セッション、ラウンドテーブル・ディスカッション
	12:30～13:30	ポスター発表
	13:45～14:45	総会
	15:00～16:25	柳井レクチャー
	16:40～18:10	大会シンポジウム
8 月 31 日（水）	9:30～11:30（受付開始 9:10）	特別セッション、一般セッション、ラウンドテーブル・ディスカッション

※開催形式はハイブリッド方式（現地とオンライン）を予定していますが、新型コロナウィルスの感染状況、政府の方針ならびに沖縄県のガイドライン変更によっては、全面オンライン形式での開催となる可能性もございます。どちらの形式になるかは 8 月半ばを目途に大会ウェブページ上でお知らせいたします。

2. 大会までのスケジュール

2022 年 3 月 28 日（月）	Web サイト公開
2022 年 4 月 11 日（月）	特別セッションの企画募集開始
2022 年 4 月 21 日（木）	大会参加事前申込、一般発表申込、抄録原稿受付 チュートリアルセミナー参加申込、各種開始
2022 年 6 月 10 日（金）	特別セッションの企画募集締め切り
2022 年 6 月 10 日（金）	一般研究発表申込締め切り
2022 年 6 月 30 日（木）	抄録原稿提出締め切り
2022 年 7 月 11 日（月）	速報版プログラムウェブ公開
2022 年 7 月下旬	プログラム冊子送付予定

2022 年 8 月 1 日（月）　　事前参加申込締め切り
2022 年 8 月 4 日（木）　　事前参加費振込締め切り
2022 年 8 月 28 日（日）～8 月 31 日（水） 第 50 回大会（28 日はチュートリアルセミナー）

3. 参加費等

（1） チュートリアルセミナー参加費

テーマ A	正会員	準会員（学生）	賛助会員	非会員（一般）	非会員（学生）
早期参加費	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
通常参加費	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円
テーマ B	正会員	準会員（学生）	賛助会員	非会員（一般）	非会員（学生）
早期参加費	3,000 円	2,000 円	3,000 円	6,000 円	4,000 円
通常参加費	4,000 円	3,000 円	4,000 円	7,000 円	5,000 円

- 早期参加費は Web による参加申込（8 月 4 日（木）まで）・参加費支払い（8 月 5 日（金）まで）をともに行われた方が対象です。それ以後は原則通常料金でのクレジットカード支払いとなります。個別の事情については実行委員会にお問い合わせください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

（2） 大会参加費

	正会員	準会員（学生）	賛助会員	非会員（一般）	非会員（学生）
早期参加費	6,000 円	3,000 円	6,000 円	10,000 円	6,000 円
通常参加費	8,000 円	5,000 円	8,000 円	12,000 円	8,000 円

- 大会参加費には抄録集 1 冊を含みます。
- 正会員には名誉会員・シニア会員を含みます。
- 賛助会員は 3 名様まで無料です。事前に参加券を 3 枚お送りしますので、この券を持参された方が対象です。4 人目以降は、上記金額です。なお、事前参加申込みより無料の登録を行った方も、当日必ず参加券をご持参ください。
- 抄録集は 1 冊 3,000 円で頒布します。
- 早期参加費は Web による参加申込（8 月 4 日（木）まで）・参加費支払い（8 月 5 日（金）まで）をともに行われた方が対象です。それ以後は原則通常料金でのクレジットカード支払いとなります。個別の事情については実行委員会にお問い合わせください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

4. 宿泊について

宿泊先は予約、斡旋しておりません。

5.　昼食について

会場には食堂がありません。会場周辺（旭橋、泉崎など）にはレストランやスーパーマーケットがございます。昼食はお弁当などを持参されるか近隣のレストランでおとりください。

（ご参考：近隣のレストラン施設など）

那覇オーパ内　https://www.opa-club.com/naha

リーガロイヤルグラン沖縄内　https://www.rihgaroyalgran-okinawa.co.jp/

※対面来場の参加者数によっては、お弁当のケータリングサービスを行うことがあります。詳細は大会ホームページでご案内します。

無線 LAN

会場には一般参加者用の無線 LAN のご提供がありません。会場内は那覇市無料公衆無線 LAN サービス「NAHA CITY FREE Wi-Fi」が利用できますが、接続・速度については大会実行委員では保証しかねますので、Wifi ルータなどのご持参をお勧めいたします。

会場の機器と発表用資料について

「口頭発表」では、ハイブリッド方式（会場での発表、遠隔からの発表）を予定しています。

（1）会場での発表

液晶プロジェクタおよび大型スクリーンが利用できます。コネクタは HDMI(通常サイズ)方式に対応しております。PC はご自身のものをご持参ください。MacOS や HDMI ミニに対応した PC をお持ち込みの場合は変換アダプタをご用意ください。また、セッション前には接続テストを済ませてください。発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。オーラル（口頭）セッションで補足資料を利用する場合は、50 部程度を目安として配布プリントをご持参ください。

(2) 遠隔からの発表

オンライン会議システム（Zoom）を利用していただきます。使用する PC には事前に Zoom をインストールしていただき、発表当日までに使用方法に慣れておいて下さい。

一般セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 50 回大会の一般セッションの発表形態には「ポスター」、「オーラル（口頭）」があります。

一般セッション「ポスター」では、割り当てられたセッション中にポスターを掲示し、かつ、各ポスターの発表者が在席責任時間の 60 分間、質疑に応じます。詳細については、別項目「ポスターセッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

一般セッション「オーラル（口頭）における発表時間は、質疑応答を含めて 20 分です。座長の指示に従い、時間厳守でお願いいたします。「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

特別セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 50 回大会の特別セッションの発表形態には、「オーラル（口頭）」、「ラウンドテーブル」があります。

特別セッション「オーラル（口頭）」は、1 セッション 120 分で、3 件以上の発表をまとめ、一つの企画として実施されます。セッションは、オーガナイザー、司会者、討論者により進行します。それぞれのテーマに沿って発表を行い、発表に関しては、フロアからの質疑応答も可能です。その 1、その 2 として、複数セッションで実施されることもあります。

特別セッション「ラウンドテーブル」については、別項目「ラウンドテーブル・ディスカッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

いずれも発表形式の詳細については事前にオーガナイザーの方にお問い合わせください。また、あわせて「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

ポスターセッションについて

一般セッション「ポスター」は、2022 年 8 月 30 日(火) 12:30～13:30 に A 会場、B 会場(第 2・3 会議室)を会場として実施します。発表は、次の要項に従って行いますので、発表者の方は、間違いのないようにしてください。

【ポスター発表の成立について】

1. ポスター発表は、指定された時刻までに会場の指定されたボード位置にポスターを掲示し、指定された責任在席時間(60 分間)中、在席し、質疑に応じることにより、正式発表とみなされます。
2. 責任在席時間は、2022 年 8 月 30 日(火) 12:30～13:30 の 60 分間とします。責任在席時間以外の時間に在席されることは自由です。
3. 12:30に、ポスターセッションの座長が席に着き、発表者の在席を順次確認します。その後、13:00にも発表者の在席を確認します。
4. ポスター発表者が欠席した場合、および責任在席時間にいない場合は、「発表取消」となります。発表者の欠席、(連名発表の場合の)発表者の交替などについては、会期前は大会実行委員会に、会期中はポスターセッション座長にご連絡ください。

【ポスターの準備について】

5. ポスター掲示板(ボード)の大きさは、B1 サイズのポスターが掲示可能です。これをポスターの大きさの上限として作成してください。
6. ポスターの上部には、発表題目と発表者全員の氏名と所属をご記入ください。連名の場合には主発表者に〇印を付けてください。

【発表当日について】

7. 発表者がどの部屋で発表を行うかは、ポスター会場にわかるように掲示しますので、ご確認の上、ご準備ください。
8. 発表者は、発表当日に総合受付で発表手続を行ってください。発表者の到着確認を行います。その際、ポスター掲示用の押しピンを受け取り、発表会場の指定された番号のボードにポスターを貼ってください(もし別の方法でポスターを貼り付けたい場合は、必要なものをご持参ください)。
9. 発表者は、指定時間(後日提示)までに貼り付け作業を終了してください。指定時間の時点で貼り付けが終了されていることを実行委員が確認します。
10. 発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を配布される方は、50部程度をご持参ください。配布も各自でお願いします。
11. 掲示したポスターは、ポスターセッションの座長が終了をお知らせした後、指定時間までに片付けてください。それ以降も掲示したままのポスターは大会実行委員会で取り外し、処分いたします。

ラウンドテーブル・ディスカッションについて

本大会では、大会実行委員会企画としてラウンドテーブル・ディスカッションを行います。ラウンドテーブル・ディスカッションは、円卓を囲み、話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）のテーマにより自由に意見を交換しながら議論する場です。先着順にテーブルに着席した参加者は「討論者」として自由に発言できます。しかし、議論した結果が特定の結論に至ることを課題としません。
ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけではなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論します。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可能です。

1 つのセッションの時間は 60 分となります（セッションを 2 つ組み合わせた 120 分のセッションもあります）。一般セッションとは異なり、十分な時間をかけて話題提供者と参加者が自由に意見交換を行い、テーブルを囲む全員が同じ立場と目線で話し合います。また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、参加している方々の研究についても、改めて深く考えていただき、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、さらに意見や感想をやりとりしていただくような研究者の交流の場としてもご活用いただければと思います。さらに、テーブルを囲む参加者（討論者）以外で、周囲のオブザーバー（テーブルの周囲の聴衆）も議論に参加することも可能です。話題提供者と参加者（討論者）が意見を交わしている状況に、オブザーバーが発言していただいてもかまいません。

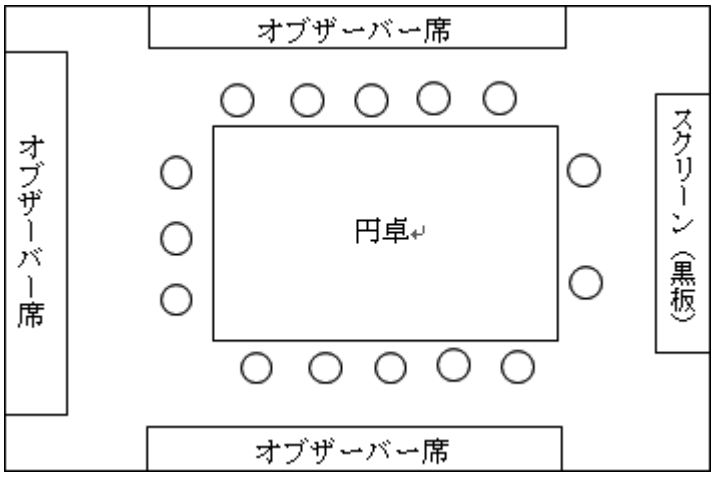
なお、本大会では会場設営の都合上、円卓ではなくテーブルをロの字（四角）に配置し、椅子を10～15 脚程度準備します。話題提供者（発表者・オーガナイザー）も参加者もともに着席します。参加希望者が多い場合は、周りのオブザーバー用の席をご利用いただきます。

1. ラウンドテーブル・ディスカッションは話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）も参加者（討論者）も、ともに着席して開始します。なお、途中の入退場は極力お控えください。
   「オーガナイザー」…セッションの企画者
   「司会者」…話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者
   「発表者」…セッションにおける報告者
   「討論者」…テーブルを囲んで討論する参加者
   「オブザーバー」…テーブルの周囲の聴衆
   （注）「参加者」は上記の全員、「話題提供者」は「オーガナイザー」と「発表者」の両方を指します。
2. まずは話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行ってください。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなりすぎないよう気をつけてください。
3. 次に討論者全員が、ショートコメントをまじえた自己紹介を行ってください。
4. その後は話題提供者の発表の流れに沿いながら、討論者などからのコメントをまじえ、参加者全員で意見交換を進めてください。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せてください。

5. 司会者は第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者と討議の開始と進行を支えてください。議論のための時間（セッションの半分以上）を確保するだけでなく、参加者に対し発言を促すようなことも状況に応じて行ってください。ただし、研究報告の主体は話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と参加者です。司会者が進行に気を使わずとも、両者の発言が順調に進み始めたら、司会者は討議について自然の成り行きに任せてください。なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はありません。一参加者として、意見の交流を楽しんでください。また、討論者や他の参加者と協力し、時間どおりの開始と終了を目指して、時間の管理と進行をお願いします。
6. 今回のラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、オブザーバーとして周囲で見学をするだけでも構いません。しかし、ご自身の意見を一言述べていただくだけでも研究の交流が生まれますので、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加してください。一人でも多くの方にテーブルに着席して議論に参加していただければ、意見交換も盛り上がると思います。積極的なご参加をお願いいたします。

※話題提供者はテーマについて議論できるような発表用の資料（プレゼン用ファイル、配布資料等）をご準備ください。補足資料がある場合は 30 部程度を目安として配布資料をご用意ください。発表には液晶プロジェクタ（VGA 方式）が利用できます。PC はご自身のものをご用意の上、セッション開始前に接続テストを済ませてください。

ラウンドテーブル・ディスカッション会場イメージ



*会場によっては若干イメージと異なる場合があります。

チュートリアルセミナー

日　　時: 2022 年 8 月 28 日(日) (13:00 受付開始)
　　テーマ A:13:40～16:10　テーマ B:16:30～19:00

テ ー マ　A: 事例で学ぶマルチレベルモデル入門
講　　師:尾崎 幸謙 先生(筑波大学)
場　　所: D 会場、E 会場(第 5・6 会議室)
概要: 階層性を持つデータや縦断データの分析手法であるマルチレベルモデルについて、事例を多く扱いながら説明します。内容は、マルチレベルモデルを学ぶための基礎知識(級内相関係数など)、ランダム切片モデル、ランダム傾きモデルです。縦断データ分析や構造方程式モデリングによる方法についても説明します。講習では概念やモデルの意味を理解することを大切にし、難解な数式は登場しません。また、タイトルにもあるように事例を適宜紹介することで理解の促進を図ります。

事前知識として、回帰分析や検定について理解していることを前提とします。R の演習は行いませんが、R のスクリプトは示しますので、R についての基本的な理解があるとベターです。拙著『R で学ぶマルチレベルモデル入門編』と『R で学ぶマルチレベルモデル実践編』の内容に沿って説明しますので事前に目を通して頂くと効果的です。特に『入門編』の内容を中心に扱います。

多くの皆さんに参加して頂けることを楽しみにしています。

テ ー マ　B: 消費者行動調査に役立つ意思決定過程分析入門
講　　師:玉利 祐樹 先生(静岡県立大学)
場　　所: D 会場、E 会場(第 5・6 会議室)
概　　要:消費者の意思決定を予測することはマーケティング上の大きな課題とされてきた。本セミナーでは、意思決定過程の情報から消費者の選択を予測する方法を紹介する。消費者が日々直面する意思決定は、複数の選択肢と属性からなる多肢多属性意思決定状況と定式化することができる。多肢多属性意思決定状況では、選択肢の数、属性の数、選択肢を呈示する方法、属性値を表現する方法、時間的切迫等の要因に依存し、探索される選択肢・属性とその順序および、意思決定の結果も変化する。このような状況依存的な意思決定を予測するために、意思決定過程の検討が行われてきている。意思決定過程の検討では、消費者が決定までに探索した選択肢・属性、その順序を記録する情報モニタリング法がある。また、意思決定過程において、どのような情報探索と評価がなされるかの心的操作の系列は、決定方略と呼ばれる。これまでに加算型、加算差型、辞書編纂型、分離型、連結型などの決定方略が見出されている。決定過程の検討方法として、情報モニタリング法の他に、言語プロトコル法や、計算機シミュレーションなどが挙げられる。 本セミナーでは、これらの意思決定過程の情報から、選択を予測する方法、そして決定方略の推定方法を中心に紹介を行う。また、描画などを用いた消費者行動の検討方法についても紹介をする。

特別講演「柳井レクチャー」

第 50 回大会では以下のように特別講演「柳井レクチャー」を実施します。柳井レクチャーは、2013 年に逝去された故柳井晴夫先生の、行動計量学に関するご業績および学会へのご貢献を顕彰するため 2014 年 11 月 10 日開催の理事会にて創設が決定されました。柳井レクチャーでは、故柳井晴夫先生のご業績に鑑み行動科学における計量的方法の理論と応用について、講演者を毎年 1 名選出し、大会時に 1 時間程度の特別講演を行っていただきます。

日　　時：2022 年 8 月 30 日（火）15:00～16:25
会　　場：C 会場、D 会場、E 会場（第４・５・６会議室）

タイトル：COVID-19 の感染問題に対する行動計量学からのアプローチ
講 演 者：木下 冨雄（京都大学名誉教授・（公財）国際高等研究所フェロー）
司 会 者：吉野 諒三 （同志社大学）

概　　要：

COVID-19 が発生して数年になり、その扱いを巡って世界中で関心が高まっている。対応の中心的な役割を担ってきたのは言うまでもなく医学であろう。そのこと自身に誤りはなくむしろ当然とも言えるのだが、今回の COVID-19 問題のごとき災害には対策としてやや不十分に見える。なぜなら大規模感染症は、狭義の医学を超えて経済や社会、さらには市民の生活やこころの問題にまで強い影響を及ぼしているからである。そしてその影響力は医学のそれを超えているかも知れない。以下にこれらの問題について、社会心理学、リスク学を含む行動計量学の視点から検討を加えることにする。

なおこの問題については下記の小論を参照されることを望む。

木下冨雄 (2021). 深層防護とリスクコミュニケーション—大規模感染症に対する社会心理学からの貢献. 心理学研究, **92(5)**, 482-494.
木下冨雄 (2022). COVID-19 の感染拡大による社会の変化. 心理学ワールド, **97**, 16-19.

第 50 回大会シンポジウム

第 50 回大会では以下のとおり大会シンポジウムを実施します。

日　　時: 2022 年 8 月 30 日（火）16:40～18:40
会　　場: C 会場、D 会場、E 会場（第4・5・6会議室）

タイトル: 調査と分析～方法と解釈
司会・オーガナイザー: 大森　拓哉（杏林大学）
話題提供者:鈴木　督久（(株)日経リサーチ）
指定討論者:星野　崇宏（慶應義塾大学）, 松本　渉（関西大学）
内容（予定）
1）統計モデルは集団行動を予測できるか
　・マスコミによる選挙予測を例に（参院選 2022）
　・データ品質と数理モデル～実力者はどちらか
2）調査はレトリックか
　・黒田日銀総裁発言と根拠調査～意識と実態
　・市場調査と広告利用～捏造・不正とは何か
3）伝説は真実か
　・1936 米大統領選～ギャラップの神話調査は存在しない
　・調査は日本語を救ったのか
　・GHQ による占領と調査（民主と科学）

総会

日時: 2022 年 8 月 30 日（火）13:45～14:45
会場: C 会場、D 会場、E 会場（第４・５・６会議室）

総会にオンライン参加の場合の接続先は、大会開催前に会員メーリングリストでお知らせします。会員メーリングリストの購読ができない場合は、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。
直接お問い合わせください。

懇親会

懇親会についてはホームページでお知らせいたします。

沖縄県市町村自治会館への交通アクセス

場所：
沖縄県市町村自治会館
アクセス：
http://okinawa-jichikaikan.com/?page_id=136

那覇空港より
【鉄道】
モノレール（ゆいレール） 旭橋駅下車
方面：てだこ浦西方面
運賃：270 円
所用時間：10 分（乗り換えなし）
旭橋駅から徒歩 5 分（駅通路直結）

【バス】
琉球バス交通　那覇バスターミナル、または旭橋・那覇バスターミナル下車
乗り場：那覇空港バス乗り場③
運賃：240 円
所要時間：12 分（乗り換えなし）
那覇バスターミナル、または旭橋・那覇バスターミナルから徒歩 3 分

【タクシー】
那覇空港～沖縄県市町村自治会館
運賃：約 1190 円程度
所用時間： 約 10 分

【自家用車】
駐車場：自治会館駐車場
収容台数：48 台
料金：1 時間 100 円（1 時間増すごとに 100 円。利用者に限る）
所用時間： 約 10 分

（会場までのアクセス）

モノレール【旭橋駅】から自治会館までのアクセス（徒歩）

①改札を出て左に曲がります

②改札から見た左側

③まっすぐ進み右に曲がります

④陸橋

⑤陸橋から見た自治会館

⑥陸橋を渡り左側へ進みます（労金さん沿い）

⑦エレベーターホールを左折、すぐ右へ

⑧突き当りまで進み右折します

⑨建物到着、左に曲がります

⑩突き当りまで進み右折します

⑪自治会館側入口

⑫中に入ると左側です・自治会館入口

⑬モノレール旭橋駅からの直結通路（全体）

那覇空港から自治会館までのアクセス（車）

①空港を出た交差点を右へ

②交差点を左へ

③三叉路を右へ

④まっすぐ進む

⑤国道58号線との合流点

⑥山下交差点直進

⑦右手に沖縄セルラースタジアム那覇

⑧明治橋交差点

⑨旭橋交差点を右へ

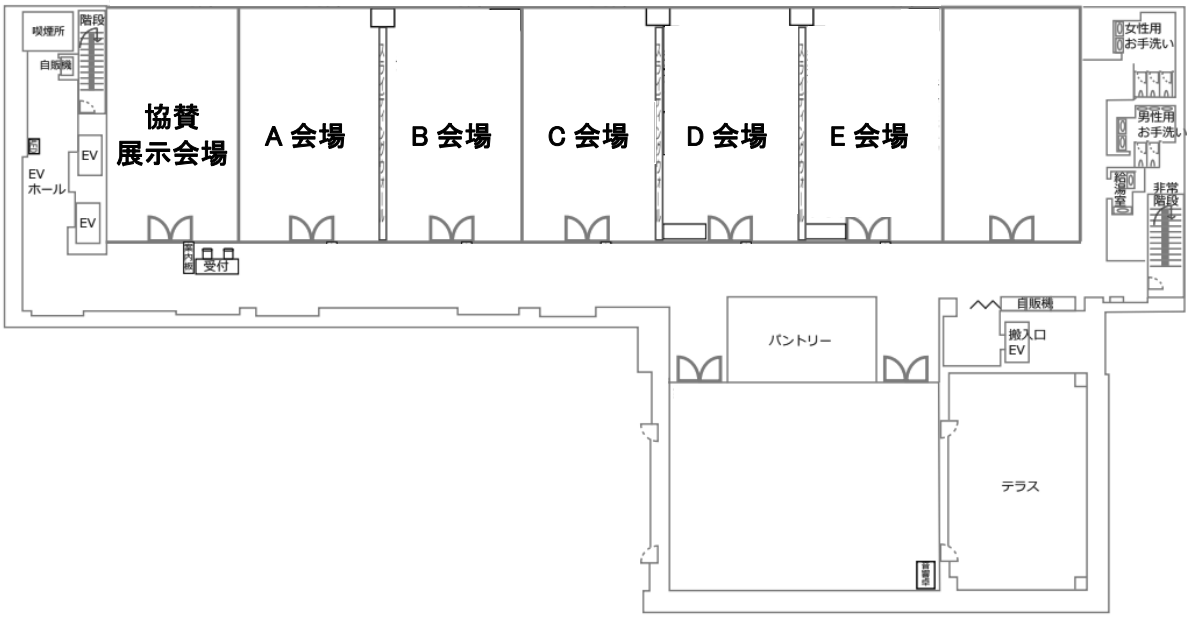
⑩まもなく自治会館

⑪自治会館

（出典：沖縄県市町村自治会館）

会場見取り図

沖縄県市町村自治会館　4 階



プログラム

8 月 28 日(日)		
	D 会場 （第 5 会議室）	E 会場 （第 6 会議室）
13:20	チュートリアルセミナー	
	受付開始	
13:40 ～ 16:10	テーマ A タイトル：事例で学ぶマルチレベルモデル入門 講師：尾崎　幸謙（筑波大学）	
16:30 ～ 19:00	テーマ B タイトル：消費者行動調査に役立つ意思決定過程分析入門 講師：玉利　祐樹（静岡県立大学）	

8 月 29 日(月)					
	A 会場 （第 2 会議室）	B 会場 （第 3 会議室）	C 会場 （第 4 会議室）	D 会場 （第 5 会議室）	E 会場 （第 6 会議室）
9:30	受　付　開　始				
10:00 ～ 12:00	特別セッション	特別セッション	特別セッション	一般セッション	一般セッション
	非対称近接性データの分析の最前線	DX とマーケティング・データ利活用 I	多様化する消費の動向と意識	数学・統計①	医学
昼休み					
13:30 ～ 15:30	特別セッション	特別セッション	特別セッション	一般セッション	一般セッション
	社会調査・世論調査の実践的課題	DX とマーケティング・データ利活用 II	データサイエンスとマーケティングサイエンスの新潮流	教育	数学・統計② （オンライン）
16:00 ～ 18:00	特別セッション	特別セッション	一般セッション	一般セッション	一般セッション
	心理学におけるモデリングアプローチの展開 IV	DX とマーケティング・データ利活用 III	社会①	統計理論	マーケティング・経済 （オンライン）

8 月 30 日(火)					
	A 会場 （第 2 会議室）	B 会場 （第 3 会議室）	C 会場 （第 4 会議室）	D 会場 （第 5 会議室）	E 会場 （第 6 会議室）
9:10	受　付　開　始				
9:30 ～ 10:30	ラウンドテーブル 非対称近接性データ分析の様々な分野での適用可能性	特別セッション 評価の測定と計量的補正	一般セッション 社会②	一般セッション 多変量解析	一般セッション 心理・教育 （オンライン）
～ 11:30					
昼休み					
12:30 ～ 13:30	ポスター発表				
13:45 ～ 14:45			総会		
15:00 ～ 16:25			柳井レクチャー 講演タイトル：COVID-19 の感染問題に対する行動計量学からのアプローチ 講演者：木下　冨雄（京都大学名誉教授・（公財）国際高等研究所フェロー） 司会者：吉野　諒三（同志社大学）		
16:40 ～ 18:40			大会シンポジウム タイトル：調査と分析～方法と解釈 話題提供者：鈴木　督久（(株)日経リサーチ） 指定討論者：星野　崇宏（慶應義塾大学），松本　渉（関西大学）		

<table>
<tr><th colspan="6">8 月 31 日(水)</th></tr>
<tr><td></td><td>A 会場
（第 2 会議室）</td><td>B 会場
（第 3 会議室）</td><td>C 会場
（第 4 会議室）</td><td>D 会場
（第 5 会議室）</td><td>E 会場
（第 6 会議室）</td></tr>
<tr><td>9:10</td><td colspan="5">受　付　開　始</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9:30
～
10:30</td><td>ラウンドテーブル</td><td>特別セッション</td><td>特別セッション</td><td>一般セッション</td><td>一般セッション</td></tr>
<tr><td>WAIC/WBIC の概要と STAN による実装</td><td rowspan="2">面接評価研究の理論と実際</td><td rowspan="2">意思決定の行動計量</td><td rowspan="2">認知・情報</td><td rowspan="2">調査・データ収集</td></tr>
<tr><td>～
11:30</td><td></td></tr>
</table>

8 月 28 日（日）

13:40-16:10

8 月 28 日（日）チュートリアルセミナーA 【D 会場・E 会場】
事例で学ぶマルチレベルモデル入門

講師：尾崎　幸謙（筑波大学）

16:30-19:00

8 月 28 日（日） チュートリアルセミナーB 【D 会場・E 会場】
消費者行動調査に役立つ意思決定過程分析入門

講師：玉利　祐樹（静岡県立大学）

8 月 29 日（月）

10:00-12:00

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【A 会場　第 2 会議室】
非対称近接性データの分析の最前線

オーガナイザー，司会者：今泉　忠（多摩大学）

S21A-1

An elementary theory of a dynamic weighted digraph (5)

○千野　直仁（愛知学院大学心理学部）

S21A-2

Determining the length of drift vector I

○岡太　彬訓（立教大学名誉教授），今泉　忠（多摩大学）

S21A-3

Determining the length of drift vector II

○今泉　忠（多摩大学経営情報学部），岡太　彬訓（立教大学）

S21A-4

外部データを用いた正則化を伴う非対称多次元尺度構成法について

○谷岡 健資（同志社大学生命医科学部医情報学科），宿久 洋（同志社大学文化情報学部文化情報学科）

S21A-5

分位点ノルムを用いた多次元尺度構成法における分位点パラメータの推定法について

○土田 潤（同志社大学），宿久 洋（同志社大学）

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【B 会場 第 3 会議室】
DX とマーケティング・データ利活用 I

オーガナイザー：鶴見 裕之（横浜国立大学）

オーガナイザー：中山 厚穂（東京都立大学）

S21B-1

コンセンサス言語と数字を用いた広告表現が購買意欲に与える影響の研究

○王 義淳（横浜国立大学大学院），鶴見 裕之（横浜国立大学）

S21B-2

機械学習アプローチによるオンライン・カスタマーレビューの感情分析

○馮 超禹（横浜国立大学大学院），鶴見 裕之（横浜国立大学）

S21B-3

季節性のある需要変動予測モデルについての一考察

○小代 禎彦（TOTO(株)）

S21B-4

スマートフォンアプリのファーストビューデザイン評価に関する分析・考察

○小口 裕（株式会社プラグ）

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【C 会場 第 4 会議室】
多様化する消費の動向と意識――東京圏調査データの分析――

オーガナイザー,司会者：廣瀬　毅士（東京通信大学情報マネジメント学部）
オーガナイザー：藤岡　真之（弘前学院大学社会福祉学部）
オーガナイザー,司会者：朝倉　真粧美（(株)ビデオリサーチ）
討論者：倪　少文（筑波大学システム情報系社会工学域）

S21C-1

「第 5 回 消費とくらしに関する調査」の概要
○朝倉 真粧美（(株)ビデオリサーチ）

S21C-2

支払いで得する消費者の特徴
○朝倉 真粧美（(株)ビデオリサーチ）

S21C-3

C2C 型二次流通品市場と消費意識
○廣瀬 毅士（東京通信大学情報マネジメント学部）

S21C-4

ショッピング態度や他人と関わる購買行動と主観的幸福感の関連
○倪 少文（システム情報系）

S21C-5

消費者のダウンシフト志向に影響を与える社会的要因
○藤岡 真之（弘前学院大学社会福祉学部）

8 月 29 日（月） 一般セッション（120 分）【D 会場 第 5 会議室】
数学・統計①

座長：宇都　雅輝（電気通信大学）

C21D-1 10:00～10:20

等質テストの最大クリーク並列探索を用いた 2 段階等質適応型テスト
○宮澤 芳光（大学入試センター），渕本 壱真（電気通信大学），植野 真臣（電気通信大学）

C21D-2 10:20～10:40

Zero-suppressed Binary Decision Diagrams による自動テスト構成の性能評価
○渕本 壱真（電気通信大学大学院情報理工学研究科），植野 真臣（電気通信大学大学院情報理工学研究科）

C21D-3 10:40～11:00

CBT と PBT の得点比較可能性を検討するためのベイズ統計学的アプローチ
○分寺 杏介（神戸大学）

C21D-4 11:00～11:20

スマホ利用のライフスタイルアプローチ（1）
○水野 一成（NTTドコモモバイル社会研究所），飽戸 弘（東京大学名誉教授）

C21D-5 11:20～11:40

負荷行列にスパース制約を課した対応分析
○牧野 直道（ベネッセ教育総合研究所）

C21D-6 11:40～12:00

変数群と成分の対応を探索する探索的拡張冗長性分析
○山下 直人（関西大学）

8 月 29 日（月） 一般セッション（120 分）【E 会場 第 6 会議室】
医学

座長：城川 美佳（神奈川県立保健福祉大学）

C21E-1 10:00～10:20

足関節物理信号と身体情報を利用した、運動フェーズごとの下肢筋肉活動定量化汎用アルゴリズムの構築
○松本 龍彦（株式会社村田製作所技術事業開発本部/大阪大学基礎工学研究科），狩野 裕（大阪大学基礎工学研究科）

C21E-2 10:20～10:40

フレイル状態の悪化に関連する要因分析 ～健康関心度の違いに着目して～

○河合 祐次郎（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター/筑波大学大学院サービス工学学位プログラム），櫻井 瑛一（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター），本村 陽一（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター），管原 侑希（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター/筑波大学大学院サービス工学学位プログラム），岡田 幸彦（筑波大学システム情報系/筑波大学人工知能科学センター），塚尾 晶子（株式会社つくばウエルネスリサーチ），久野 譜也（筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター）

C21E-3 10:40～11:00

勾配ブースティング決定木とロジスティック回帰を用いた確率予測モデルの特性

○瀬戸 ひろえ（大阪大学大学院人間科学研究科），木虎 秀二（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター），大山 飛鳥（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター），山本 陵平（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター），土岐 博（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター）

C21E-4 11:00～11:20

階層モデルにおける検出力の観点からの刺激選択法

○藤田 和也（名古屋大学）

C21E-5 11:20～11:40

構造的因果モデルに基づく因果効果識別基準の比較検討

○塩飽 大基（岡山大学大学院環境生命科学研究科），坂本 亘（岡山大学大学院環境生命科学研究科），山本 倫生（大阪大学大学院人間科学研究科/理化学研究所 AIP）

C21E-6 11:40～12:00

確率的介入に基づく因果効果の十分次元削減を用いた推定方法の提案

○山本 倫生（大阪大学大学院人間科学研究科/理化学研究所 AIP）

13:30-15:30

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【A 会場 第 2 会議室】
社会調査・世論調査の実践的課題

オーガナイザー,司会者,討論者：吉野　諒三（同志社大学）

S22A-1

回収層・未回収層のプロファイリング

○吉野 諒三（同志社大学）

S22A-2

調査データから見た環境配慮行動の阻害要因

○鄭 躍軍（同志社大学文化情報学部）

S22A-3

Factors influencing the conduction of pro-environmental behaviors based on the analysis of ISSP survey data

○陳 艶艶（福岡工業大学社会環境学部），林 文（東洋英和女学院大学）

S22A-4

核軍縮・核抑止・IAEA 査察における日米世論の比較分析

○芝井 清久（ROIS-DS/統計数理研究所）

S22A-5

SDGs と公益信託

○角田 弘子（日本ウェルネススポーツ大学）

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【B 会場 第 3 会議室】
DX とマーケティング・データ利活用 II

オーガナイザー：鶴見　裕之（横浜国立大学）,中山　厚穂（東京都立大学）

S22B-1

救急搬送データベースを用いた夜間帯救急搬送事案の性差について

○田久 浩志（国士舘大学大学院救急システム研究科）

S22B-2

健康経営データと E″S″G 評価

○大北 祥子（株式会社長谷工アネシス），崎濱 栄治（大阪大学大学院経済学研究科），尾身 慎一朗（株式会社長谷工アネシス）

S22B-3

CSR の知覚と企業評価の関係性分析

○土田　尚弘（麗澤大学経済学部）

S22B-4

環境配慮型商品「太陽光発電システム（PV）」の普及促進要因の探求

○木方　真理子（東京電力ホールディングス(株)経営技術戦略研究所），○川島　隆志（(株)Biz パートナーズ），向江　亮（東京電力ホールディングス(株)経営技術戦略研究所），川原　慶喜（東京電力ホールディングス(株)経営技術戦略研究所）

8 月 29 日（月）　特別セッション（120 分）【C 会場　第 4 会議室】
データサイエンスとマーケティングサイエンスの新潮流

オーガナイザー,司会者：星野　崇宏（慶應義塾大学経済学部・大学院経済学研究科）

S22C-1

GPS 位置情報を用いた屋外交通広告効果の推定

○村田　裕人（慶應義塾大学），星野　崇宏（慶應義塾大学経済学部）

S22C-2

ポイント付与に伴う非合理的な購買行動の消費者異質性の評価

○西尾　和生（慶應義塾大学経済学研究科），星野　崇宏（慶應義塾大学経済学部）

S22C-3

複数種類 GPS データを活用したオルタナティブデータによる経済指標予測

○太田　悠太（慶應義塾大学経済学研究科），西尾　和生（慶應義塾大学経済学研究科），宮田　信（慶應義塾大学経済学部），星野　崇宏（慶應義塾大学経済学部）

S22C-4

店舗内タイムプレッシャーと快楽性製品カテゴリーの購買行動

○加藤　諒（一橋大学），星野　崇宏（慶應義塾大学）

S22C-5

Covid-19 によるメディア利用行動の変化：隠れマルコフモデルによるアプローチ

○猪狩　良介（法政大学経営学部），竹内　真登（東北学院大学）

8 月 29 日（月） 一般セッション（120 分）【D 会場 第 5 会議室】
教育

座長：宮澤　芳光（大学入試センター）

C22D-1 13:30～13:50

古い GPA（Grade Point Average）法についての覚書
○椎名　乾平（早稲田大学教育学部）

C22D-2 13:50～14:10

近年の経営学部ゼミナールにおけるプログラミング教育システムの効果および分析
○中野　統英（追手門学院大学経営学部），原田　章（追手門学院大学経営学部）

C22D-3 14:10～14:30

学習データの忘却を最適化する HyperNetwork を組み込んだ DeepIRT
○堤　瑛美子（電気通信大学大学院），郭　亦鳴（電気通信大学大学院），植野　真臣（電気通信大学）

C22D-4 14:30～14:50

Transformer モデルを用いた難易度調節機能付き読解問題自動生成手法
○鈴木　彩香（電気通信大学大学院），宇都　雅輝（電気通信大学）

C22D-5 14:50～15:10

ベイジアンネットワークにおける経験ベイズ学習
○加藤　弘也（電気通信大学情報理工学域 I 類），植野　真臣（電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻）

C22D-6 15:10～15:30

データサイエンスの教育教材：中上級編
○狩野　裕（大阪大学）

8 月 29 日（月） 一般セッション（120 分）【E 会場 第 6 会議室】
数学・統計②（オンライン）

座長：前田　忠彦（情報・システム研究機構/統計数理研究所）

C22E-1 13:30～13:50

ベイズファクターによるモデル選択再考
○繁桝 算男（慶應義塾大学）

C22E-2 13:50～14:10

社会調査における収入変数の欠測要因分析
○石橋 挙（専修大学大学院文学研究科社会学専攻），前田 忠彦（データサイエンス共同利用基盤施設）

C22E-3 14:10～14:30

生存時間解析での RMST を用いた被覆確率とバイアスとの関係に対する試験条件依存性
○粟國 晴楽（東京理科大学大学院経営学研究科），西川 哲夫（武蔵野大学工学部数理工学科），榎本 駿平（東京大学医学部附属病院企画情報運営部），西川 正子（東京慈恵会医科大学臨床研究支援センター），朝日 弓未（東京理科大学大学院経営学研究科）

C22E-4 14:30～14:50

Retribution for parameters with their l1 and l2 sub-vector norms
○宮嵜 伊弦（株式会社豊田中央研究所）

C22E-5 14:50～15:10

サイコロの目の和の分布とテスト得点分布
○荘島 宏二郎（大学入試センター研究開発部）

16:00-18:00

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【A 会場 第 2 会議室】
心理学におけるモデリングアプローチの展開 Ⅳ

オーガナイザー,司会者：小杉　考司（専修大学人間科学部）

S23A-1

認知課題による親密性の測定

〇井上 心太（関西学院大学社会学研究科），清水 裕士（関西学院大学社会学部社会学科）

S23A-2

互恵性モデルに基づく社会的選好の測定

〇水野 景子（関西学院大学社会学研究科），清水 裕士（関西学院大学社会学部）

S23A-3

認知モデリングによる説得の受容過程の検討

〇若井 大成（東京大学大学院教育学研究科），岡田 謙介（東京大学大学院教育学研究科）

S23A-4

ベイズ多次元展開法を用いた欧州ポピュリズム政党の可視化と解析

〇橘 航大（東京大学），加藤 淳子（東京大学），岡田 謙介（東京大学）

S23A-5

三次元物体の心的回転課題おける反応時間の試行間変動のモデリング

〇武藤 拓之（京都大学人と社会の未来研究院）

S23A-6

犯罪者プロファイリングのための犯行行程距離の推定

〇小野 修一（山口県警察本部科学捜査研究所）

8 月 29 日（月） 特別セッション（120 分）【B 会場 第 3 会議室】
DX とマーケティング・データ利活用 Ⅲ

オーガナイザー：鶴見　裕之（横浜国立大学）,中山　厚穂（東京都立大学）

S23B-1

国内企業における DX 推進のポイント

〇崎濱 栄治（大阪大学大学院経済学研究科），大北 祥子（株式会社長谷工アネシス），尾身 慎一朗（株式会社長谷工アネシス）

S23B-2

パートナーシップ・ロイヤルティ・プログラムのトライアル会員の行動分析
○寺本 高(中央大学), 若鶴 優(CCC マーケティング株式会社), 鶴見 裕之(横浜国立大学), 本橋 永至(横浜国立大学), 佐藤 伸(CCC マーケティング株式会社), 中岸 恵実子(CCC マーケティング株式会社)

S23B-3

エンゲージメントとリーダータイプの関係性に基づく組織の検討
○中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科), 清田 茂(日本エス・エイチ・エル株式会社), 堀 博美(日本エス・エイチ・エル株式会社), 重野 達也(日本エス・エイチ・エル株式会社)

8 月 29 日(月) 一般セッション(120 分)【C 会場 第 4 会議室】
社会①

座長:星野 崇宏(慶應義塾大学)

C23C-1 16:00～16:20

Schwartz 基本価値観分類と美容価値観との関係性解析
○小竹山 祐輝(株式会社コーセー), 中村 理恵(株式会社コーセー), 小林 宏美(株式会社コーセー), 加納 史子(コペンハーゲン商科大学 (Copenhagen Business School))

C23C-2 16:20～16:40

購買間隔と金額の不均一性の活用について
○江守 凌平(慶應義塾大学経済学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部・大学院経済学研究科)

C23C-3 16:40～17:00

購買履歴情報を用いた新製品による逐次選択効果の推定
○増田 夏樹(慶應義塾大学経済学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部・大学院経済学研究科)

C23C-4 17:00～17:20

ストーカー加害者の再犯リスクに関する分析
○齊藤 知範(科学警察研究所犯罪行動科学部), 山根 由子(科学警察研究所犯罪行動科学部), 島田 貴仁(科学警察研究所犯罪行動科学部)

C23C-5 17:20～17:40

自然実験を用いた犯罪抑止対策の効果検証
○島田 貴仁(科学警察研究所犯罪行動科学部), 齊藤 知範(科学警察研究所犯罪行動科学部), 山根 由子(科学警察研究所犯罪行動科学部)

8 月 29 日(月) 一般セッション(120 分)【D 会場 第 5 会議室】
統計理論

座長:山本 倫生(大阪大学)

C23D-1 16:00～16:20

評価者特性の時間変動を推定する時系列型ベイズ多相ラッシュモデル
○宇都 雅輝(電気通信大学), 林 真由(電気通信大学)

C23D-2 16:20～16:40

深層学習と多次元項目反応理論を用いた小論文の観点別自動採点
○柴田 拓海(電気通信大学大学院), 宇都 雅輝(電気通信大学大学院)

C23D-3 16:40～17:00

深層学習自動採点技術を用いた一般化多相ラッシュモデルの等化手法
○荒巻 洸太(電気通信大学情報理工学域Ⅰ類コンピュータサイエンスプログラム), 宇都 雅輝(電気通信大学)

C23D-4 17:00～17:20

次元削減における特徴選択と特徴抽出の有効性比較
○鄭 弯弯(東京理科大学)

C23D-5 17:20～17:40

適応制御の下での分散に対する因果効果の不偏推定量と推定精度について
○手塚 大樹(横浜国立大学大学院理工学府数物電子情報系理工学専攻), 黒木 学(横浜国立大学)

C23D-6 17:40～18:00

Semiparametric optimal estimation under information sampling
○森川 耕輔（大阪大学大学院基礎工学研究科）

8 月 29 日（月） 一般セッション（120 分）【E 会場 第 6 会議室】
マーケティング・経済（オンライン）

座長：森本 栄一（(株)ビデオリサーチ）

C23E-1 16:00～16:20

消費財カテゴリー・ブランド評価における BTYD モデルの活用可能性の検討
○篠原 正裕（(株)インテージ事業開発本部 DX 部）

C23E-2 16:20～16:40

若者の購入先選択の意向と行動に関する日中比較分析
○王 喆珺（同志社大学文化情報学研究科），鄭 躍軍（同志社大学文化情報学研究科）

C23E-3 16:40～17:00

スマホ利用のライフスタイルアプローチ（2）
○小島 誠也（(株)NTTドコモモバイル社会研究所），飽戸 弘（東京大学(名誉教授)）

C23E-4 17:00～17:20

出生率と女性の社会移動に着目した少子化の分析
○倉島 茂之（東京理科大学大学院経営学研究科経営学専攻），朝日 弓未（東京理科大学）

C23E-5 17:20～17:40

幸福に対するお出かけの効果
○上田 雅夫（横浜市立大学）

8 月 30 日（火）

9:30-10:30

8 月 30 日（火）ラウンドテーブルディスカッション（60 分）【A 会場 第 2 会議室】
非対称近接性データ分析の様々な分野での適用可能性ー機械学習分野での応用ー

オーガナイザー：今泉　忠（多摩大学）

S31A-1

非対称局所性保存射影とその応用

○岩井 儀雄（鳥取大学大学院工学研究科）

9:30-11:30

8 月 30 日（火） 特別セッション（120 分）【B 会場 第 3 会議室】
評価の測定と計量的補正

オーガナイザー：櫻井　宏明（学習院女子大学）,森　一将（文教大学）

司会者：森　一将（文教大学）

討論者：大橋　洸太郎（文教大学）

S31B-1

日本における砂糖税実施時の清涼飲料水の購買変化に関する研究：大学生へのアンケートをもとに

○森本 栄一（ビデオリサーチ），橋本 貴充（大学入試センター研究開発部），森 一将（文教大学経営学部）

S31B-2

食品表示の影響を考慮した清涼飲料水イメージの顔グラフ表現

○大森 拓哉（杏林大学保健学部），森 一将（文教大学経営学部）

S31B-3

計量的に推計した食品信号表示システムの認知バイアスの検証と補正について

○森 一将（文教大学経営学部），浅川 雅美（文教大学健康栄養学部），櫻井 宏明（学習院女子大学国際文化交流学部）

8 月 30 日（火） 一般セッション（120 分） C 会場 第 4 会議室
社会②

座長：土田　潤（同志社大学）

C31C-1 9:30～9:50

犯行地点分布の代表点を基準とした集積性の評価指標
○平間 一樹（科学警察研究所/東京都立大学），横田 賀英子（科学警察研究所），大塚 祐輔（科学警察研究所），古橋 健悟（科学警察研究所），渡邉 和美（科学警察研究所），横田 亮（科学警察研究所），矢部 直人（東京都立大学）

C31C-2 9:50～10:10

イジング模型を用いた群衆心理行動の表現と階層型エントロピーを用いた磁化の起こりやすさ指標
○井上 翔介（東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻）

C31C-3 10:10～10:30

階層多クラス分類と事後層化を用いた選挙予測モデルの検討
○光廣 正基（株式会社日経リサーチ）

C31C-4 10:30～10:50

交絡変数の部分的統制に関する考察
○樊 怡舟（広島大学高等教育研究開発センター），中尾 走（広島市立大学）

C31C-5 10:50～11:10

組織開発のための従業員サーベイにおける特異な回答傾向の把握について
○坪谷 圭恵（同志社大学文化情報学部），上山 峰輝（京セラ株式会社総務人事本部人材開発部），春日 宏紀（京セラ株式会社総務人事本部人材開発部），土田 潤（同志社大学文化情報学部），吉田 泰（京セラ株式会社総務人事本部人材開発部），宿久 洋（同志社大学文化情報学部）

C31C-6 11:10～11:30

多重対応分析における回転の効果
○村上 隆（中京大学文化科学研究所）

8 月 30 日（火） 一般セッション（120 分）【D 会場 第 5 会議室】
多変量解析

座長：橋本　貴充（大学入試センター）

C31D-1 9:30～9:50

マーシーのレーティング指標の統計的性質とそのネットワーク分析への応用
○黒木 裕鷹（Sansan 株式会社），塩浜 敬之（南山大学）

C31D-2 9:50～10:10

会話コーパスを用いた性別による発話特徴の分析
○大脇 彩夏（同志社大学大学院文化情報学研究科），金 明哲（同志社大学文化情報学部）

C31D-3 10:10～10:30

ジャンルにロバストな著者識別用特徴量 CA n-gram の提案
○柳 燁佳（同志社大学），金 明哲（同志社大学文化情報学部）

C31D-4 10:30～10:50

社会で求められる非認知能力の自己評価法
○芳賀 麻誉美（大阪経済大学）

C31D-5 10:50～11:10

非計画購買に関する研究の歴史と近年の研究動向
○孫 禹（大阪経済大学経営学研究科），芳賀 麻誉美（大阪経済大学）

C31D-6 11:10～11:30

ベクトル量子化による大規模クラスタリングの計算量削減法とその性質
○寺田 吉壱（大阪大学大学院基礎工学研究科/理化学研究所 AIP），山本倫生（大阪大学大学院人間科学研究科/理化学研究所 AIP）

8 月 30 日（火） 一般セッション（120 分）【E 会場 第 6 会議室】
心理・教育（オンライン）

座長：荘島　宏二郎（大学入試センター）

C31E-1 9:30～9:50

インターネット利用がレジリエンスに及ぼす影響の縦断分析
○坂部 創一（創価大学理工学部情報システム工学科），山崎 秀夫（東京国際大学人間社会学部）

C31E-2 9:50～10:10

調査実習系授業におけるファシリテーターの効果
○竹内 光悦（実践女子大学人間社会学部）

C31E-3 10:10～10:30

もう一度罪を犯す確率≒1%!?
○緒方 康介（大阪公立大学）

C31E-4 10:30～10:50

項目反応理論を用いた学校特性の推定方法
○袰岩 晶（国立教育政策研究所），篠原 真子（国立教育政策研究所）

C31E-5 10:50～11:10

リーダーの感情表出がリーダーに対する評価に与える影響（2）―評価者の性・年齢の要因
○山内 香奈（成城大学文芸学部）

12:30-13:30

8 月 30 日（火） ポスター発表（60 分）【A 会場・B 会場】

座長：森　一将（文教大学）

P01

共通・独自因子得点による重回帰分析について
○橋本 翔（西南学院大学）

P02

独立変数が測定誤差を含む場合に重回帰分析に生じるバイアスの検討
○小野島 昂洋（愛知学院大学）

P03

On the Relationship between Classical and Multilevel ANCOVA and Contextual Effects Model
○堀 一輝（ベネッセ教育総合研究所教育基礎研究室）

P04

階層ベイズモデルにおける適応的刺激選択法
○藤田 和也（名古屋大学）

P05

岐阜地区において競合関係にあるドラッグストアの消費者満足に関する解析
○山田 浩喜（愛知大学）

P06

連続事件における犯行地点分布の異方性の評価
○横田 亮（警察庁科学警察研究所），平間 一樹（警察庁科学警察研究所/東京都立大学），平林 学人（警察庁科学警察研究所），横田 賀英子（警察庁科学警察研究所），大塚 祐輔（警察庁科学警察研究所），渡邉 和美（警察庁科学警察研究所），井元 大輔（警察庁科学警察研究所），本間 正勝（警察庁科学警察研究所），黒沢 健至（警察庁科学警察研究所）

P07

心的モノサシ理論による端数価格づけ現象の分析
○劉 放（早稲田大学文学研究科），竹村 和久（早稲田大学）

P08

クレジットカード使用感と生活満足度の関連性と変遷
○若山 大樹（駒澤大学経営学部）

P09

大学生のスマートフォン依存傾向とストレス，食習慣との関連性
杉野 嘉津枝（文教大学健康栄養学部管理栄養学科），佐藤 美有（文教大学健康栄養学部管理栄養学科），○大橋 洸太郎（文教大学情報学部）

P10

食品パッケージにあるトクホマークや受賞マークが購買意欲に及ぼす影響
○浅川 雅美（文教大学），岡野 雅雄（文教大学）

P11

楽器演奏者に対するイメージの測定
○萩生田 伸子（埼玉大学教育学部），萩原 まこ（北区立梅木小学校）

P12

出生コホート研究参加女性への質問票調査における未回収関連要因の検討
〇城川 美佳（神奈川県立保健福祉大学），土田 暁子（富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座），松村 健太（富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座），浜崎 景（群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野），稲寺 秀邦（富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座）

P13

義理人情度からみた地方への移住意向
〇朴 堯星（統計数理研究所），前田 忠彦（統計数理研究所）

P14

組織調査を用いた基礎科学研究における職場環境と研究成果生産性の関連の実証研究
〇加藤 直子（情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設社会データ構造化センター），前田 忠彦（情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設社会データ構造化センター）

P15

大学卒業時満足度の説明要因に関するコロナ渦発生前後での比較
〇打田 篤彦（追手門学院大学共通教育機構），原田 章（追手門学院大学経営学部）

15:00-16:25

8 月 30 日（火） 柳井レクチャー（85 分）【C 会場 D 会場 E 会場】

司会者：吉野諒三(統計数理研究所)

COVID-19 の感染問題に対する行動計量学からのアプローチ
〇木下 冨雄（京都大学名誉教授/(公財)国際高等研究所フェロー）

16:40-18:40

8 月 30 日（火） 大会シンポジウム（120 分）【C 会場 D 会場 E 会場】

話題提供者：鈴木 督久（(株)日経リサーチ）
調査と分析～方法と解釈
指定討論者：星野 崇宏（慶應義塾大学），松本 渉（関西大学）

8 月 31 日（水）

9:30-10:30

8 月 31 日（水）ラウンドテーブルディスカッション（60 分）【A 会場 第 2 会議室】
WAIC/WBIC の概要と STAN による実装

オーガナイザー：鈴木　譲（大阪大学大学院基礎工学研究科統計数理講座）

S41A-1

WAIC/WBIC の概要と STAN による実装

〇鈴木 譲（大阪大学大学院基礎工学研究科統計数理講座）

9:30-11:30

8 月 31 日（水） 特別セッション（120 分）【B 会場 第 3 会議室】
面接評価研究の理論と実際

オーガナイザー：森　一将（文教大学経営学部）

司会者：橋本　貴充（大学入試センター）

討論者：荒井　清佳（大学入試センター）

S41B-1

社会的判断の生成に混入するバイアス：面接型入試研究の意義

〇大江 朋子（帝京大学）

S41B-2

オンライン面接における評価の諸側面

〇高木 幸子（常磐大学人間科学部），伊藤 博晃（神奈川大学），安田 孝（松山東雲女子大学），渡邊 伸行（金沢工業大学）

S41B-3

評価の検証への行動計量学的アプローチ

〇渋井 進（大学改革支援・学位授与機構研究開発部）

8 月 31 日（水） 特別セッション（120 分）【C 会場 第 4 会議室】
意思決定の行動計量

オーガナイザー,司会者,討論者：竹村　和久（早稲田大学文学学術院）

S41C-1

眼球運動測定を用いた多属性意思決定過程の検討
〇井出野　尚（東京理科大学経営学部），玉利　祐樹（静岡県立大学），森井　真広（東海大学），竹村　和久（早稲田大学），岡田　光弘（慶應義塾大学）

S41C-2

多属性意思決定における情報処理過程の検討ーシミュレーション、情報モニタリング法、眼球運動の比較から
〇玉利　祐樹（静岡県立大学），井出野　尚（東京理科大学），竹村　和久（早稲田大学）

S41C-3

コロナ禍における規範的意思決定に関する研究
〇村上　始（北海学園大学経営学部），須永　直人（株式会社須永総合研究所），星野　貴仁（株式会社 SHP），舘岡　大貴（株式会社 SHP），平塚　将（株式会社須永総合研究所），原口　僚平（株式会社須永総合研究所），山下部　駿（株式会社須永総合研究所），竹村　和久（早稲田大学文学学術院）

S41C-4

Examining Investor Behaviors from a Behavioral Finance Perspective: An Experimental Study
〇Gökberk BAYRAMOĞLU（Business Administration Faculty of Ege University）

8 月 31 日（水） 一般セッション（120 分）【D 会場 第 5 会議室】
認知・情報

座長：芳賀　麻誉美（大阪経済大学）

C41D-1 9:30～9:50

著者識別において単語の長さの精度が低いなのか
鄭　弯弯（東京理科大学），〇金　明哲（同志社大学）

C41D-2 9:50～10:10

著者推定における異なる事前学習データを持つ日本語版 BERT の性能比較分析
〇神田 泰誠（同志社大学大学院文化情報学研究科），柳 烨佳（同志社大学大学院文化情報学研究科），金 明哲（同志社大学文化情報学部）

C41D-3 10:10～10:30

テキストアナリティクスに基づく小説『明暗』の続編に関する比較分析
〇李 広微（同志社大学文化情報学研究科），金 明哲（同志社大学文化情報学部）

C41D-4 10:30～10:50

黒糖焼酎の購買意向と個人特性の関係性分析
芳賀 麻誉美（大阪経済大学），〇高橋 尚大（大阪経済大学経営学部）

C41D-5 10:50～11:10

写真の視覚認知に対する画像深層学習の到達点
〇大森 宏（東京大学），羽生 和紀（日本大学）

8 月 31 日（水） 一般セッション（120 分）【E 会場 第 6 会議室】
調査・データ収集

座長：朴 堯星（統計数理研究所）

C41E-1 9:30～9:50

熟練の現場監督の注視点・発話構造から見た現状の安全教育の課題とリスク教育ツールの提案
〇久代 紀之（九州工業大学），妻鹿 利宏（三菱電機ビルソリューションズ(株)/九州工業大学）

C41E-2 9:50～10:10

運転者のヒヤリ・ハットの潜在因子と運転者属性・発生環境の関連分析
〇小菅 英恵（公益財団法人交通事故総合分析センター研究部）

C41E-3 10:10～10:30

反応バイアスは何によってもたらされるのか
○田崎 勝也（青山学院大学国際政治経済学部）

C41E-4 10:30～10:50

マイナーカテゴリーの非計画購買率の推定
○石橋 敬介（流通経済研究所），佐々木 舞香（筑波大学大学院/流通経済研究所），尾崎 幸謙（筑波大学）

C41E-5 10:50～11:10

ウェブ調査におけるモニター回答行動の探索的確認
○入江 崇介（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所），佐藤 裕子（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所）

日本行動計量学会第 50 回大会

主催:日本行動計量学会第 50 回大会実行委員会
於:沖縄県市町村自治会館
開催日:2022 年 8 月 28 日～8 月 31 日

○ 実行委員会
大会実行委員会委員長
森　一将(文教大学)
大会実行委員会副委員長
浅川雅美(文教大学)
櫻井宏明(学習院女子大学)
実行委員
荒井清佳(大学入試センター)
大橋洸太郎(文教大学)
大森拓哉(杏林大学)
岡崎威生(琉球大学)
菊地賢一(東邦大学)
椎名久美子(大学入試センター)
渋井　進(大学改革支援・学位授与機構)
竹村和久(早稲田大学)
西田　豊(杏林大学)
橋本貴充(大学入試センター)
森本栄一(ビデオリサーチ)
宿久　洋(同志社大学)
横山　暁(青山学院大学)
吉田清隆(杏林大学)

○ 協賛(2022 年 6 月 30 日現在)
株式会社 NTT データ数理システム
アイブリッジ株式会社

編集：日本行動計量学会第 50 回大会実行委員会
発行：日本行動計量学会

Visual Mining Studio から一新
GUI 操作で膨大なデータから有用な知識を発見できる
本格的なデータ分析プラットフォーム

アルカノ

Alkano

対応 OS:
Microsoft Windows 8.1 / 10 / 11
Microsoft Windows Server 2019 / Server 2022

Alkano 特徴

- ■ データ読み込み・可視化・前処理・モデリング・運用まで一連の分析プロセスを GUI 操作で効率的に実行可能。
- ■ 統計解析・機械学習・ビッグデータ分析・ディープラーニングまでこれからのデータ分析に必要な機能を搭載。当社 BayoLinkS との連係も可能。
- ■ 形態素解析、文章ベクトル化、Word Embedding がアイコンで実行可能。自然言語処理にも活用できます。
- ■ 大規模データにも安定した処理を実現。ディープラーニングアイコンは GPU での演算に対応。
- ■ Python や R のプログラムとの連係可能。
- ■ 強力な分析自動化機能搭載。ハイパーパラメータを効率的に探索・最適化可能。

Alkano 応用例

製造：異常検知、故障予兆検知、歩留まりの要因分析、需要予測
マーケティング：顧客分析、潜在ニーズ分析、販売予測、併売パターン分析
医薬：レセプト・健診データ分析、臨床試験データ解析、医療ビッグデータ分析　※その他のご利用形態はご相談ください。

Alkano アカデミック向けライセンス

お得な研究者（1 名様）用、研究室用のライセンスがございます
データサイエンスを活用した教育・研究に！

NTT DATA　株式会社 NTTデータ 数理システム　営業部　お問い合わせ:平日10:00-16:00（E-mail、FAXは随時受付）
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地　信濃町煉瓦館1階
E-mail: alkano-info@ml.msi.co.jp　03-3358-6681　FAX: 03-3358-1727　【URL】https://www.msi.co.jp